

山行報告書

計画書整理 No.

期 間：2025 年 3 月 8 日（土）～3 月 9 日（日）
種 別：合宿 例山 個人 岳連 協会
山 域：谷川岳

参 加 者：鎌田健二（ベルニナ山岳会）、河本嘉照（横須賀山岳会）

コースタイム：

3/8

2:38 谷川岳 BP4:58 ーノ倉沢出合 6:00 テールリッジ手前の尾根 7:41 略奪点 11:57 懸垂岩 15:00、2P 目終了点（フォーストビバーク）

3/9

6:51、3P 目、9:59 ダイレクトルンゼ手前のコル、11:28、5 ルンゼの頭 15:12 オキノ耳、16:10 西黒尾根 19:31 谷川岳 BP



懸垂岩



オキノ耳

この日は雪が多く、所々ラッセルを強いられ行動がかなり遅れたが、総じて山の状態は悪くなかったと思われる。Γ ルンゼは今にも落ちてきそうな雪庇が 2 箇所程確認できたが、気温が低かったのでそれが落ちてくる事もなく、安全に通過。この先トポ上では、懸垂岩まで懸垂を混じえた岩稜歩きとされているが、懸垂する事無く、すんなり取付けた。アブミパートのハーケンはしっかり効いている感じではあるが、肝心なお助けスリングはいつ切れてもおかしくない状態。このスリングがないとかなり悪いクライミングを強いられると思われる。ここを含め 6 ピッチ程ロープを出した。(2P 終了点でビバーク)

懸垂岩の核心部を終えると、トポ上の絵柄では左に巻く様に惑わされるが、実際は雪の状態が良さそうなら右側のルンゼを登った方が楽。(しかし雪崩のリスク有り)。その後しばらく稜線を歩き右方向へトラバースするとダイレクトルンゼが現れる。ここはそれ程雪崩のリスクは無いと思われる。スノーシャワーを浴びながら 5 ルンゼの頭へ到着。後はひたすら稜線を歩き一ノ倉岳山頂へ。我々はこの辺りから完全にホワイトアウトに見舞われ、下山にあり得ない程の時間を要した。

西黒尾根は天狗のコル辺りまで降りてくると、霧も晴れやっとな安全に下山できる事を確信した。正直ヤマレコの GPS 機能が無ければ、ホワイトアウトの中、永遠と山の中を彷徨い続けていただろう。登山ギアの技術進化に感謝しなければならない。一昔前であればやられていた可能性は否定できない。(天狗のコル以下は視界も開け、それなりに安全に下山した。)

感想

今回の一ノ倉尾根登攀成功は、ベルニナ山岳会鎌田代表の強い精神力に助けられたと言う事実は言うまでもない。山の本質を知るリーダーの元、私自身の現状の限界にチャレンジできた生涯忘れ得ぬ山行となった。鎌田代表へ、私のエゴにお付き合い頂き、誠に有難うございました。

追記(当会員へ)

当会員である以上、現役メンバーは直近で、冬期滝沢リッジは是が非でもやらなければならない課題の一つだと個人的には考えます。某退会者 Y 氏に相談したところ、一ノ倉尾根がやれたなら、滝沢リッジにチャレンジする資格は充分にあるとの回答が得られました。次回、一ノ倉尾根のチャレンジの祭は私が山行リーダーとなり、後進の指導にあたりたいと思っております。滝沢リッジは横須賀山岳会が初登した大切なルート。それを当たり前に登ってこそ、真の横山メンバーなのではないでしょうか。横山 CL としては、現役メンバーには是非奮起して頂きたいと思う次第です。共に高みを目指していきましょう！

やっちょー！